

**『広島県病院事業経営計画（平成26年度～28年度）』の取組状況
に係る広島県病院経営外部評価委員会の評価報告書
【平成26年度の評価】**

平成27年12月21日
広島県病院経営外部評価委員会
委員長 谷田 一久

1 広島県病院経営外部評価委員会

広島県病院経営外部評価委員会は、「広島県病院事業経営計画（以下「経営計画」という。）」の取組状況に係る点検・評価等を行う外部組織として平成22年5月に設置され、今年度は5年目になります。本委員会は行政、医学教育、公立病院経営等に精通した各分野の専門家を委員として構成され、公正に、しかも専門的な観点から広島県病院事業を評価しようとするものです。

平成26年度の経営計画の取組状況について、今年度は2回（8月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめましたので、ここに報告いたします。

2 評価結果の総括

平成26年度は、平成26年3月に策定した「第5次経営計画」の初年度にあたります。第5次経営計画では、「医療機能の強化と更なる患者サービスの向上」、「医療人材の育成・派遣機能の強化」、「危機管理対応力の強化」、「経営力の強化」などを取組方針としており、これに対応する様々な具体的取組項目と目標を設定し、計画達成に向けて取組を進めています。

広島病院は、広島県の基幹病院として救急医療、成育医療、がん医療を中心とした医療機能の強化をはじめ、医療人材の育成・派遣や災害医療にも貢献していることを高く評価しました。

安芸津病院は、少子高齢化の進展する地域にあって、病気の予防から治療、在宅復帰に至るまで、地域と一体となって地域住民の健康を支える取組を進めており、住民から頼りにされる病院を目指して努力されていることを評価しました。

収支面においては、1億1千万円余の経常利益を計上できたことを高く評価します。今般進められる社会保障制度改革においては、消費税増税や診療報酬マイナス改定等、収支に影響を与えるであろう状況も確実に予測されるところです。県立病院は収支面での均衡を確保することも含め、その使命を全うするための経営の健全化を堅持することを期待します。

3 評価結果

（1）評価基準と評価方法

経営計画に基づき平成26年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

(2) 各病院の評価結果

①-1 県立広島病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成26年度は13項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、4項目となりました。

経営計画において重点取組項目として設定した救急医療、成育医療、がん医療機能の強化については、脳心臓血管センターの開設や腫瘍センターの開設に向けた病棟整備など、積極的に取組を進めており、広島県の基幹病院として中核的な役割を果たしていると認められます。また、平成26年度は、8月に広島市で発生した大規模土砂災害へのDMAT隊の派遣や被災患者の受け入れをはじめ、基幹災害拠点病院として災害医療にも尽力しています。

目標指標11項目のうち7項目を達成し、未達成の項目についても高い水準にあることは評価できますが、収支面においては6年連続の経常黒字を達成しているものの、平成25年度と平成26年度の決算を比較すると費用の増加額が収益の増加額を大きく上回っており、大変厳しい状況にあることが窺われます。要因の分析と対策を講じることを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

①-2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H26 ()はH25
評価結果『◎』とした項目	4項目(4)
評価結果『○』とした項目	9項目(8)
評価結果『△』とした項目	0項目(0)
評価結果『×』とした項目	0項目(0)
合計	13(12)項目

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ()は H25
1 医療機能の強化と患者サービスの向上			
1	救急医療機能の強化	◎	◎(○)
2	成育医療機能の強化	○	○(○)
3	がん医療機能の強化	◎	◎(◎)
4	地域医療への貢献	○	○(◎)
5	医療の安全と質の向上	○	○(○)
6	患者サービスの向上	○	○(○)
2 人材育成・確保・派遣機能の強化			
7	医療人材の育成・確保・派遣	◎	◎(○)
3 患者サービスの向上と経営の効率化			
8	危機管理対応力の強化	◎	◎(-)
9	経営力の強化	○	○(○)
10	増収対策	○	○(◎)
11	費用合理化対策	○	○(○)
4 連携強化			
12	2病院の協力状況	○	○(○)
5 決算、目標指標			
13	収支改善、目標指標	○	○(◎)

総合評価	◎(◎)
------	------

②-1 県立安芸津病院の評価

経営計画に係る取組状況については、平成26年度は10項目の取組のうち、『◎（計画どおり概ね順調である。）』と評価した項目は、2項目となりました。

限られた医療資源の中で、地元自治体、住民組織などと一体となって、がん検診の受診促進や転倒予防の普及啓発など、地域住民の健康を支える取組を進めていることを高く評価します。

また、26年度は地域のニーズを踏まえて、地域包括ケア病床の運用を開始するなど、地域包括ケアへの取組を強化しています。

今後も、地域包括ケアの後方支援としての役割を果たすため、病気の予防から在宅復帰に至るまで、地域と一体となった取組を充実・強化していくことが望まれます。

一方で、機能強化の取組が、経営面に十分に反映されていないと見受けられるので、引き続き収支改善にも努めていただくことを期待します。

なお、取組方針ごとの委員会評価意見は別紙「評価表」に記載のとおりです。

②-2 評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H26 ()はH25
評価結果『◎』とした項目	2項目(2)
評価結果『○』とした項目	6項目(8)
評価結果『△』とした項目	2項目(0)
評価結果『×』とした項目	0項目(0)
合計	10(10)項目

イ 取組方針ごとの評価

番号	取組方針	自己 評価	委員会評価 ()は H25
1 医療機能の強化と患者サービスの向上			
1	医療提供体制の強化	◎	◎(◎)
2	医療の安全と質の向上	○	○(○)
3	患者サービスの向上	○	◎(○)
2 人材育成・確保・派遣機能の強化			
4	医療人材の育成・確保・派遣	○	○(◎)
3 危機管理対応力と経営力の強化			
5	危機管理対応力の強化	○	○(-)
6	経営力の強化	○	○(○)
7	増収対策	○	○(○)
8	費用合理化対策	△	△(○)
4 連携強化			
9	2病院の協力状況	○	○(○)
5 決算、目標指標			
10	収支改善、目標指標	△	△(△)

総合評価	○(○)
------	------

広島県病院経営外部評価委員会 委員一覧

(敬称略)

区分	氏名	備考(職名等)
委員長	谷田 一久	(株)ホスピタルマネジメント研究所 代表取締役
副委員長	河野 修興	広島大学副学長(地域医療・東千田担当)・ 教授
委員	塩谷 泰一	高松市病院事業管理者
委員	檜谷 義美	(一社)広島県医師会副会長
委員	平谷 優子	弁護士
委員	和田 頼知	有限責任監査法人トーマツ パートナー (公認会計士)

広島県病院経営外部評価委員会 平成27年度議事一覧

○第1回〔平成27年8月3日(月) 於：広島県庁〕
平成26年度の取組状況について

○第2回〔平成27年11月9日(月) 於：広島県庁〕
(1) 経営計画の取組状況(平成26年度)の評価取りまとめについて
(2) 平成27年度上半期の取組状況について
(3) 課題・必要な取組の意見等について